令和８年２月１６日

泉の学び舎
世田谷区立池尻小学校
校長　　間宮　英二様

泉の学び舎
世田谷区立池尻小学校
学校関係者評価委員会
委員長　田口　康之

令和７年度学校関係者評価報告書

１　初めに

今年度も全ての公立学校における学校関係者評価の時期となった。平成１２年１月に学校教育法施行規則の改正により、地域住民や学識経験者などによる学校運営への参画の仕組みとして学校評議員制度が導入されて以来、現在の学校関係者評価の流れとなった。第三者が学校経営にかかわり評価も行う経過も約３０年となった。本区、本校においても、学識経験者、児童・保護者を身近に見て活動する支援者、地域から学校を支える支援者等が日常の教育活動を調査・分析・考察し、児童が望ましい教育活動が受けられるよう毎年実施してきているところである。

今年は、新たにアンケート調査について、分かり易く、応え易い形式に変更し、多くの回答を収集でき、経験豊かな委員に新たな評価委員を加え、より精度を高めての委員会を実施することができた。活動内容としては、学校経営方針、教職員の日常の教育活動、その中での児童、保護者、地域の方々等の評価を総合的に分析、考察し、本校の今後の教育活動や児童理解、保護者理解、地域理解に資するものとすることを目的とし、学校長へ報告書を提出するものである。

（１）学校関係者等アンケート調査数について

回答状況

児　童　９７名
５年４５名（５８名在籍）　６年５２名（６１名在籍）

保護者　２６１名
１年４０名（依頼数５６名）　２年３５名（依頼数５０名）
３年４２名（依頼数４１名）　４年４０名（依頼数３６名）
５年４７名（依頼数３６名）　６年５１名（依頼数４４名）

地域　６２名（依頼数６６名）

※今年度より保護者に対しては家庭数での回答を依頼した。
※依頼数より回答数の多い学年は、一部の家庭で両親による回答があったと考えられる。

（２）考察方法について

アンケート調査より、
①肯定的回答の多かった項目

②否定的回答の多かった項目
③わからないという回答の多かった項目
以上の３項目に着目し、「児童」「保護者」「地域」から考察した。また、学校経営方針の重点目標の１及び２並びに３について考察を行った。

Ⅱ　「前年度（令和６年度）の改善結果及び次年度（令和７年度）に向けた改善方策」に対する評価

児童へのアンケートによれば、本校の先生方の授業の行いについては、概ね肯定的なものが多く、「せたがや探究的な学び」に沿った学習展開は間違えなかったものと考える。
地域へのアンケートの「学校行事の内容は充実している」の回答では肯定的な回答が 87%を超えていいた。これは地域の関係者と連携を取り、児童との関わりを増やすと共に多様な視点から授業を行っている結果と考える。
昨年同様に児童，保護者共に、肯定的評価の少なかったものに「早寝早起き」に関しての項目がある。学校としては、体育（保健）授業や学活・生活指導等に、食育・生活リズム・健康教育を行い、体力の向上を図っているが、指導の内容を保護者へ更に周知徹底する必要がある。
つながり合う関係の中で一生懸命な姿が輝く学校を育成するためには、「全教職員で全児童を育てる」という意識で指導に当たる必要がある。そうすることで、教師は児童の多様なよさを見とることができる。見取ったよさを共有し、児童を中心に置いて、教師、保護者や地域関係者がつながりを深めていくことで、互いに知ると共に、よきを認め合い、協働して児童のよさを伸ばしていくことができる。

児童と教職員、保護者、地域の方々が様々な場面で豊かに関わり合い、自他の良さや大切さに気付き、思いを伝え合うことが出来る児童を育成する学校であると期待したい。

Ⅲ　学校関係者評価結果及び考察について

１　児童(５・６年)アンケート

（１）肯定的回答の多かった項目

	肯定的回答（「とても思う」「思う」）の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	私は相手の思いや考えを真剣に聞いている。	42.3%	46.4%	10.3%	0.0%	1.0%
2	私は友達と協力している。	57.7%	27.8%	10.3%	2.1%	2.1%
3	学校行事は楽しい。	55.7%	26.8%	10.3%	4.1%	3.1%
4	私は自分からあいさつをしている。	55.7%	25.8%	13.4%	2.1%	3.1%
5	私は自分の思いや考えを伝える（友達の前で話す）ことができる。	54.6%	25.8%	13.4%	2.1%	4.1%

（２）否定的回答の多かった項目

	否定的回答（「あまり思わない」「思わない」）の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない

1	私は早寝、早起きをしている。	21.6%	21.6%	24.7%	15.5%	16.5%
2	先生に相談できる。	36.1%	29.9%	16.5%	11.3%	6.2%
3	私にはよいところがある。	38.1%	26.8%	18.6%	5.2%	11.3%
4	私は運動が好きである。	56.7%	11.3%	16.5%	7.2%	8.2%
5	私は学校のきまりを守って、行動している。	29.9%	43.3%	18.6%	3.1%	5.2%

（3）「わからない」という回答の多かった項目

	否定的回答（「あまり思わない」「思わない」）の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	私は早寝、早起きをしている。	21.6%	21.6%	24.7%	15.5%	16.5%
2	私の家にはインターネットやゲームをするときの約束があり、それを守っている。	46.4%	22.7%	12.4%	6.2%	12.4%
3	私にはよいところがある。	38.1%	26.8%	18.6%	5.2%	11.3%
4	私は運動が好きである。	56.7%	11.3%	16.5%	7.2%	8.2%
5	私は学校で学ぶことが楽しい。	42.3%	32.0%	12.4%	7.2%	6.2%

【児童(５・６年)アンケート回答の考察】

肯定的回答の多かった５つの項目（「私は相手の思いや考えを真剣に聞いている。」「私は友達と協力している。」「学校行事は楽しい。」「私は自分からあいさつをしている。」「私は自分の思いや考えを伝える（友達の前で話す）ことができる。」）は、昨年度のアンケートでも肯定的回答が多かった項目で、その比率も概ね同じであるが、「私は自分からあいさつをしている」の項目の肯定的回答比率は、昨年度は 72.6%であったものが今年度は 81.5%であり、10%近く上昇している。学校でも児童自らが代表委員会の発案で、校内挨拶運動を実施している。これは、今年度の本校の学校経営の基本方針の一つとして掲げる「つながり合う関係の強化」の一環としてあいさつの奨励を進めていることの効果が表れたのではないかと考える。また、上位二つの項目（「私は相手の思いや考えを真剣に聞いている。」「私は友達と協力している。」）の肯定的回答の高さは、本校が「豊かに関わり合い、互いに高め合う児童の育成」を重点目標の一つとして取り組んだ成果と評価できる。

否定的回答の多かった５つの項目（「私は早寝、早起きをしている。」「先生に相談できる。」「私にはよいところがある。」「私は運動が好きである。」「私は学校のきまりを守って、行動している。」）についても、昨年度のアンケートでも否定的回答が多かった項目であり、その比率も概ね同じであるが、「私は学校のきまりを守って、行動している」の項目に関しては、昨年度の否定的回答比率は 15.9%であったのに対し、今年度は 21.7%に上昇している点が若干気がかりである。

「私は早寝、早起きをしている」の項目は、昨年と同じく肯定的回答が約 4 割と低く依然として夜型の生活をしている子どもが多い。質の良い睡眠を確保することは、成長時期にとても大切である。体育の時間や休み時間を利用して十分に遊びや運動を行うことは、基礎体力を養い健康の保持増進にも役立つことを児童に理解させ、今後も心身ともに豊かな成長を期待する。

なお、今年度の６年生について、昨年（５年生時）の回答との差異を分析したところ、「学校生活は楽しい。」の項目の肯定的回答が大きく上昇している（昨年度 66.6% →今年度 79.2%）。この１年間の本校の教育活動全般によるものと高く評価したい。

２　保護者アンケート

（１）肯定的回答の多かった項目

	肯定的回答（「とても思う」「思う」）の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	お子さんに朝ご飯を食べさせている。	88.2%	8.6%	1.2%	1.2%	0.8%
2	お子さんにとって学校行事は楽しい。	61.2%	32.2%	4.3%	1.6%	0.8%
3	本校は学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる。	50.6%	42.4%	4.3%	0.4%	2.4%
4	本校はホームページやメールなどで、保護者に情報を提供している。	54.1%	38.4%	5.5%	1.2%	0.8%
5	お子さんは必要に応じて友達と協力している。	39.6%	51.0%	5.5%	0.4%	3.5%

（２）否定的回答の多かった項目

	否定的回答（「あまり思わない」「思わない」）の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	お子さんは自分の考えを人に伝えることができる。	22.0%	51.8%	21.2%	3.9%	1.2%
2	家にはインターネットやゲームをするときの約束があり、お子さんはそれを守っている。	36.1%	39.2%	18.4%	5.9%	0.4%
3	お子さんは運動が好きである。	50.2%	27.1%	15.3%	6.7%	0.8%
4	お子さんは自分からあいさつをしている。	27.8%	46.7%	19.6%	2.4%	3.5%
5	お子さんは人の話を真剣に聞いている。	35.3%	42.4%	18.8%	2.0%	1.6%

（３）「分からない」という回答の多かった項目

	「わからない」という回答の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	本校はお子さんの自己肯定感や自己有用感を育てている。	27.8%	45.5%	16.1%	2.4%	8.2%
2	お子さんは必要に応じて友達と協力している。	39.6%	51.0%	5.5%	0.4%	3.5%
3	お子さんは自分からあいさつをしている。	27.8%	46.7%	19.6%	2.4%	3.5%
4	本校の教育活動に満足している。	40.4%	41.6%	12.9%	2.4%	2.7%
5	お子さんは決まりを守って、行動している。	17.6%	52.9%	21.6%	3.9%	3.9%

【保護者アンケート回答の考察】

今年度のアンケートは、回答方法を家庭数での回答依頼に改めた結果、依頼者数 263 件に対し 255 件、回収率約 97.0%という、全家庭数に等しい極めて高い網羅性を確保することができた。昨年度の回収率 53%（174 名）と比較しても、データの信頼性は飛躍的に向上しており保護者全体の

意向を正確に反映した分析が可能となった。

　肯定的な回答（「とても思う」「思う」の合計）において、最も高かったのは「朝ご飯を食べさせている（96.8%）」であり、基本的な生活習慣への意識の高さが伺える。学校教育に関する項目では、「学校行事が楽しい（93.4%）」、「ホームページやメール等での情報提供（92.5%）」、および「学校公開等で児童の様子が分かる（93.0%）」がいずれも9割を超えた。昨年同様、学校行事や情報発信への満足度は非常に高く、学校の継続的な努力が保護者からの強い信頼に繋がっている。

　否定的な回答（「あまり思わない」「思わない」の合計）については、「お子さんは自分の考えを人に伝えることができる（25.1%）」、「インターネットやゲームのルールの遵守（24.3%）」、「自分からあいさつをしている（22.0%）」が上位に挙がった。特に自己表現力や家庭内でのルール作り、積極的な挨拶といった項目において、保護者が子どもの姿に課題を感じている現状が浮き彫りとなった。

　また、昨年度まで課題として指摘されていた「学び舎（近隣校との連携）」に関する設問が今年度のアンケート項目から削除されていた点については継続的な評価が困難となった。評価委員会でも議論された通り、評価の低い項目を精査するだけではなく、課題がどのように改善されたか（あるいは停滞しているか）を検証できる評価体制を維持していくことが、真に「開かれた学校づくり」には不可欠である。

　「わからない」という回答が最も多かったのは、「学校がお子さんの自己肯定感や自己有用感を育てている（8.2%）」であった。数値としては低いものの、学校内での日常的な指導や、数値化しにくい心の成長についての評価を、いかに保護者へ可視化して伝えていくかが今後の課題と言える。

　以上のことから、今年度は極めて高い回収率により学校行事や情報発信への高い評価を確認できた。一方で否定的な回答の多い項目から、コミュニケーション能力の育成や家庭内でのゲーム等におけるルールの確立など、新たな課題も明確になった。アンケート項目の見直しがあった「学び舎」等の項目を含め、単に肯定的な評価を得るだけではなく、課題に対しても真摯に向き合い、保護者や地域との対話を深めていく教育活動の展開を期待したい。

3　地域アンケート

（1）肯定的回答の多かった項目

	肯定的回答（「とても思う」「思う」）の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	学校からのお知らせ（学校だより）やホームページにより、学校の様子が分かる。	45.2%	51.6%	0.0%	0.0%	3.2%
2	学校は安心・安全な学校づくりを進めている。	41.9%	48.4%	3.2%	0.0%	6.5%
3	学校行事の内容は充実している。	48.4%	38.7%	3.2%	0.0%	9.7%
4	学校は地域の人材・施設と協力して教育活動を行っている。	51.6%	35.5%	3.2%	3.2%	6.5%
5	学校の大切にしようとしていることが伝わってくる。	45.2%	38.7%	3.2%	0.0%	12.9%

（２）否定的回答の多かった項目

	否定的回答（「あまり思わない」「思わない」）の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	本校児童は地域の人とあいさつをしている。	25.8%	29.0%	19.4%	3.2%	22.6%
2	ゲストティーチャー、ボランティア等で教育活動へ参加している。もしくは、してもよいと思っている。	22.6%	51.6%	6.5%	3.2%	16.1%
3	本校児童は、交通ルールを守っている。	35.5%	41.9%	6.5%	0.0%	16.1%
4	学校は地域の人材・施設と協力して教育活動を行っている。	51.6%	35.5%	3.2%	3.2%	6.5%
5	本校児童をほめようと思ったことがある。	35.5%	38.7%	3.2%	0.0%	22.6%

（３）「わからない」という回答が多かった項目

	「わからない」という回答の多かった項目	A. とても思う	B. 思う	C. あまり思わない	D. 思わない	E. 分からない
1	本校児童をほめようと思ったことがある。	35.5%	38.7%	3.2%	0.0%	22.6%
2	本校児童は地域の人とあいさつをしている。	25.8%	29.0%	19.4%	3.2%	22.6%
3	ゲストティーチャー、ボランティア等で教育活動へ参加している。もしくは、してもよいと思っている。	22.6%	51.6%	6.5%	3.2%	16.1%
4	行事に関して事前準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	35.5%	45.2%	3.2%	0.0%	16.1%
5	本校児童は、交通ルールを守っている。	35.5%	41.9%	6.5%	0.0%	16.1%

【地域アンケート回答の考察】

令和７年度のアンケート依頼数６６名、回答数６２名で昨年度の依頼数３３名、回答数１５名に比較し回答率、総数共に増加していることから、今年度アンケート結果を基に考察することとする。

肯定的回答の多かった項目として、「学校からのお知らせ（学校だより）やホームページにより、学校の様子が分かる」の項目について肯定的回答が多く、否定的回答が０％であった。この数値は、学校からのお知らせ（学校だよりなど）、ホームページなどにより学校の様子が良くＰＲされている結果であると思われる。一方、肯定的回答が多かった「学校は、安心・安全な学校づくりを進めている」、「学校行事の内容が充実している」、「学校は地域の人材・施設と協力して教育活動を行っている」、「学校の大切にしようとしていることが伝わってくる」の項目については、わずかながら否定的回答があったものの、おおむね「安全・安心で充実した学校運営」が行われていることが確認できる。

否定的回答の多かった項目として、特に「本校児童は地域の人とあいさつをしている」の質問に対して「あまり思わない」、「思わない」と答えた割合が合わせて２２．６％と高かった。これは社会全体で不審者を警戒して、あいさつをしない子どもが増加している傾向にあるのではないだろうか。昨年のアンケート結果でも同様の傾向が見られたため、まずは、あいさつを交わす場を増やし、地域や保護者の方々が、自ら積極的に児童にあいさつをするとともに、児童も自らあいさつをし、それぞれの方々と顔見知りになれるよう、一層の生活指導の充実を図る必要がある。

「わからない」という回答が多かった項目として、特に「本校児童をほめようと思ったことがある」、「本校児童は地域の人とあいさつをしている」の質問に対して「分からない」と答えた割合が共に２２．

６％と高かった。これは、地域の方々が学校行事に参加する時間の確保が困難なことなどのため、生徒に接する場面が減っていることによる面が大きいと考えられる。今後は、地域の方々に各報告を含めた情報発信をさらに進めるとともに、地域の方々が学校行事に参加するよう促し、学校、地域、保護者がしっかり連携・協力して更なる子どもたちの育成を図ることを期待したい。

〇まとめと課題

学校の教育活動については、概ね肯定的な評価を受けている。昨年同様先生方の授業等の教育活動は概ね肯定的な評価が示されている。

特に児童は、昨年より大幅に「自ら挨拶している」状況が数値から見受けられるとともに、他者理解に繋がり、思いやりの心が育っていることも調査からうかがえる。さらに、児童、保護者、地域の方々からも学校行事については高い評価を得て、信頼が培われていうと考える。加えて、現６年生は、５年生当時より、学校が楽しい回答した児童が大きく増加したことは、学校の成果として高く評価できる。

一方、課題も明らかとなった。

【児童】

〇「早寝、早起きをしている」項目についてはここ数年の改善が見られない。今後は、保護者、家庭との連携の基に改善の工夫が必要である。

〇「先生たちに相談できる」「私にはよいところがある」「私は運動が好きである。」は昨年と同様な否定的な傾向であり、特に「私は学校のきまりを守って、行動している」は昨年より否定的な数値が増加している。今後の注視していかなければならない課題と考える。

【保護者】

〇本年は、アンケート調査回収の方法を工夫したことにより、多くの保護の考えや評価を正しく見とることができた。

〇アンケート調査の項目はなかったが、委員会の中で、「学び舎」についての情報が少なかったのではないかとの意見もでた。アンケート調査の項目を精査した中で、項目にないことについては、学校として情報を収集することが大切と考える。

【地域】

〇「本校児童は地域の人とあいさつをしている」の項目は昨年同様に否定的な回答があり、地域と児童のつながりの改善工夫が求められる。

以上、本年度の学校評価のまとめと来年度に向けての課題である。学校は、児童、保護者、地域の方のアンケートから概ね良好の状況と考えられる。一方、課題も見られた。今後とも、学校の情報を広く伝え、学び舎についても保護者、地域に理解していただくよう努力され、相互の信頼関係を構築することを期待する。